

2 28年度の状況

(1)水産物部

①取扱高及び収益状況

事項		28年度	27年度	前期比
総取扱金額(売上高)		4,905億5,366万円	4,998億7,105万円	98.14
卸売業務	数量	426,590トン	458,166トン	93.11
	金額	4,205億6,602万円	4,311億5,159万円	97.54
受託物品	数量	98,888トン	112,424トン	87.96
	金額	1,046億5,923万円	1,129億8,891万円	92.63
買付物品	数量	327,702トン	345,742トン	94.78
	金額	3,159億679万円	3,181億6,268万円	99.29
兼業業務	金額	699億8,765万円	687億1,946万円	101.85
売上総利益		230億7,620万円	234億5,680万円	98.38
受託販売手数料		57億5,413万円	62億1,090万円	92.65
買付販売利益		140億6,699万円	139億1,482万円	101.09
兼業業務利益		32億5,509万円	33億3,108万円	97.72
売上総利益率		4.70%	4.69%	
販売費及び一般管理費		215億6,190万円	209億7,427万円	102.80
営業利益		15億1,430万円	24億8,253万円	61.00
営業利益率		0.31%	0.50%	
経常利益		29億5,571万円	31億5,695万円	93.63
経常利益率		0.60%	0.63%	

水産物部は、前年度と比較し、減収減益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量が減少したため、売上単価の上昇はあったものの、総売上高は、約93億円の減収となった。

売上総利益は、買付販売利益がわずかに増加したものの、受託販売手数料及び兼業業務利益が減少したため、全体では約4億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は約10億円、経常利益は約2億円の減益となった。

②財務状況

事項	28年度	27年度	前期比
総資産	1,043億7,762万円	958億93万円	108.95
負債	591億9,825万円	543億4,576万円	108.93
純資産	451億7,937万円	414億5,517万円	108.98
自己資本比率	43.28%	43.27%	
流動比率	148.76%	143.68%	

財務状況は、主に固定資産の増加により、総資産が約86億円増加した。

純資産については、利益剰余金が増加などにより約37億円増加したが、長期借入金が増加などにより自己資本比率は前年度とほぼ同じとなった。

流動比率は、売掛金の増加や短期借入金の減少などにより約5.1ポイント上昇した。

(2) 青果部

① 取扱高及び収益状況

事項		28年度	27年度	前期比
総取扱金額(売上高)		5,769億5,968万円	5,583億5,679万円	103.33
卸売業務	数量	1,988,942トン	2,004,276トン	99.23
	金額	5,465億2,334万円	5,309億4,421万円	102.93
受託物品	数量	1,239,648トン	1,268,849トン	97.70
	金額	3,510億2,321万円	3,443億1,789万円	101.95
買付物品	数量	749,294トン	735,427トン	101.89
	金額	1,955億14万円	1,866億2,632万円	104.75
兼業業務	金額	304億3,634万円	274億1,258万円	111.03
売上総利益		395億402万円	387億3,400万円	101.99
受託販売手数料		284億7,575万円	279億2,144万円	101.99
買付販売利益		81億6,607万円	80億8,420万円	101.01
兼業業務利益		28億6,220万円	27億2,836万円	104.91
売上総利益率		6.85%	6.94%	
販売費及び一般管理費		365億6,073万円	359億3,146万円	101.75
営業利益		29億4,329万円	28億255万円	105.02
営業利益率		0.51%	0.50%	
経常利益		39億7,108万円	36億6,256万円	108.42
経常利益率		0.69%	0.66%	

青果部は、前年度と比較し、増収増益となった。

取扱数量は減少したが、売上単価の上昇により、総売上高は、約186億円の増収となった。

売上総利益は、受託販売手数料、買付販売利益及び兼業業務利益がいずれも増加したため、全体で約8億円の増益となった。

また、販売費及び一般管理費が受託品事故損や出荷・完納奨励金、その他人件費などの増加により約6億円増加したものの、営業利益は約1億円、経常利益は約3億円の増益となった。

② 財務状況

事項	28年度	27年度	前期比
総資産	673億2,446万円	624億6,504万円	107.78
負債	202億8,123万円	170億1,896万円	119.17
純資産	470億4,324万円	454億4,608万円	103.51
自己資本比率	69.88%	72.75%	
流動比率	284.33%	307.17%	

財務状況は、現預金や売掛金、固定資産の増加などにより、総資産が約49億円増加した。純資産についても、利益剰余金などが増加したことにより約16億円増加したが、負債の増加により自己資本比率が約2.9ポイント下降した。

流動比率は、流動負債が増加したため、約22.8ポイント下降した。

(3)花き部

①取扱高及び収益状況

事項		28年度	27年度	前期比
総取扱金額(売上高)		842億5,968万円	837億6,096万円	100.60
卸売業務	数量	1,607,499千本	1,634,832千本	98.33
	金額	815億4,386万円	820億8,349万円	99.34
受託物品	数量	1,508,166千本	1,569,998千本	96.06
	金額	758億408万円	763億2,159万円	99.32
買付物品	数量	99,332千本	64,834千本	153.21
	金額	57億3,978万円	57億6,190万円	99.62
兼業業務	金額	27億1,583万円	16億7,747万円	161.90
売上総利益		80億8,067万円	80億6,134万円	100.24
受託販売手数料		72億8,683万円	73億3,544万円	99.34
買付販売利益		3億4,260万円	3億2,104万円	106.72
兼業業務利益		4億5,125万円	4億486万円	111.46
売上総利益率		9.59%	9.62%	
販売費及び一般管理費		79億466万円	76億4,764万円	103.36
営業利益		1億7,601万円	4億1,370万円	42.55
営業利益率		0.21%	0.49%	
経常利益		3億2,657万円	5億4,006万円	60.47
経常利益率		0.39%	0.64%	

花き部は、前年度と比較し増収減益であった。

総売上高については、卸売業務の総取扱数量が減少したものの、売上単価の上昇により、総売上高は、約5億円の増収となった。

売上総利益は、受託販売手数料が減少したものの、買付販売利益及び兼業業務利益が増加したため、前年度とほぼ同じとなった。

一方、販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益は約3億円、経常利益は約2億円の減少となった。

②財務状況

事項	28年度	27年度	前期比
総資産	201億1,871万円	195億2,508万円	103.04
負債	112億4,059万円	106億1,857万円	105.86
純資産	88億7,812万円	89億650万円	99.68
自己資本比率	44.13%	45.62%	
流動比率	176.90%	158.83%	

財務状況は、固定資産の増加により、総資産が約6億円増加した。

純資産については、前年度とほぼ同じであったが、上記固定資産の増加により、自己資本比率が約5.2ポイント下降した。

流動比率は、流動負債が減少したため、約18.1ポイント下降した。

(4)各部門の比較

項目・部類	水産物部	青果部	花き部	計
総取扱金額(売上高)	4,905億5,366万円	5,769億5,968万円	842億5,968万円	1兆1,517億7,303万円
売上総利益	230億7,620万円	395億402万円	80億8,067万円	706億6,089万円
販売費及び一般管理費	215億6,190万円	365億6,073万円	79億466万円	660億2,729万円
営業利益	15億1,430万円	29億4,329万円	1億7,601万円	46億3,360万円
営業利益率	0.31%	0.51%	0.21%	0.40%
経常利益	29億5,571万円	39億7,108万円	3億2,657万円	72億5,336万円
経常利益率	0.60%	0.69%	0.39%	0.63%

※つけ物・鳥卵及び食肉部を除く

総取扱金額(売上高)は、青果部が約5千8百億円と最も大きい。次いで、水産物部が5千億円弱、花き部が840億円強となっている。

売上総利益率(粗利率)は、花き部が9.59%、青果部が6.85%、水産物部が4.70%、と花き部が一番大きい。これは、総取扱金額(売上高)に占める受託販売の割合が約90%を占め、受託販売手数料率も花き部が一番高いことによる。

営業利益率は、販売費及び一般管理費の増加により、青果部のみ微増となった。

経常利益率は各部門において営業外損益がプラスであることから、営業利益率に比して高くなっている。

<参考>

1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上のうちのどれくらいが営業利益になるのかを見るもの。

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} / \text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} \times 100 (\%)$$

2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に支払利息や有価証券売却益などの本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

$$\text{経常利益率} = \text{経常利益} / \text{総売上高 (受託 + 買付 + 兼業)} \times 100 (\%)$$

3 部類別平均単価の推移(消費税込み) 単位:円

部 類	28年度	27年度	26年度	
水 産	1,065	1017	980	
青 果	野菜	268	256	236
	果実	405	393	358
花 き	切花	66	66	65
	鉢物	533	509	500

4 利益率の推移

単位:%

部 類	水 産		青 果		花 き	
	営業	経常	営業	経常	営業	経常
28年度	0.31	0.60	0.51	0.69	0.21	0.39
27年度	0.50	0.63	0.50	0.66	0.49	0.64
26年度	0.47	0.62	0.37	0.50	0.57	0.75

※・年間総括表(市場別・卸売業者別・部類別取扱高)の部類別平均価格による

- ・水産、青果の平均単価は、1kgあたり
- ・花きの平均単価は、切花は本、鉢物は鉢あたり